県優良産品のお墨付き

趣味で養蜂の磯部源治さん 在来ミツバチの蜂蜜で

館山

推奨を受けた商品と磯部さん＝館山

趣味で在来種のニホンミツバチの養蜂をしている館山市正木の磯部源治さんが採蜜した蜂蜜「日本蜜蜂のはちみつ（百花蜜）」がこのほど、個人ではただ一人県優良県産品の推奨を受けた。

県優良県産品は、県行政担当者や学識経験者などで構成する「県優良県産品推奨協議会」が審査会で審査。合格した商品には優良県産品の推奨マークが添付される。令和元年度は41企業121品が選ばれた。個人では磯部さんだけ。

磯部さんは15年ほど前に、趣味でニホンミツバチの飼育を始めたのがきっかけ。ニホンミツバチはセイヨウミツバチなどと比べると飼育が難しく、試行錯誤しながらハチが好む環境をつくるのが面白くて夢中になっていったという。当初は1～2群が住み着く程度だったが何群にもなって巣づくりをしていた。それから、採蜜にも力を入れ、「多くの人に認められるような蜂蜜をつくりたい」という思いから、商品化、ホームページなどで販売するようになり、年間100キロほど生産している。

推奨を受けた磯部さんは「日本産を原料とし添加物のない安心安全にこだわったことが推奨につながった。今後はニホンミツバチの認知度向上に精進していきたい」と話した。